



佐農高だより

～ 汗をかき 人と和して 己を磨く ～

令和5年度 第1号(令和5年4月28日発行)

佐賀県立佐賀農業高等学校 校長 外戸口 良文

佐賀県杵島郡白石町大字福田1660

TEL 0952-84-2611 FAX 0952-71-5009

<http://www.education.saga-ed.jp/hp/saganougyoukoukou/>



新緑が美しい季節になりました。春は変わるチャンスです。特に1年生にとって、この春は中学から高校へ進学し、気持ちも新た。新しい環境で新しい仲間との生活が始まりました。「なりたい僕」「なりたい私」になる努力を始めましょう。新しい仲間、新しい先生の刺激を受けて、どんどん素敵な人になるべく自分を磨いてください。もちろん上級生の皆さんも、です。さあ、勇気を出して変身しよう!

令和5年度始動



3月の暖かさから打って変わって4月らしい肌寒さが戻った6日(木)、始業式を行いました。2、3年生が一堂に会した体育館には、4月からのマスク着用自由化に伴い、マスクを外した顔もちらほら見えました。

新しい年度の始まりにあたって、外戸口良文校長先生は、柔軟な心をもつことの大切さについて話されました。「スーパーで商品棚が乱れていても、よく気がつく人がいて、きれいに並べ直しています。校内でもゴミが落ちていたら、気づいた人が拾っているのです。もし誰もが自分の仕事でない、といって拾わなかったら、ゴミが散乱する佐農になってしまいます。自分の担当ではなくても、気づいたら行動する、そんな柔軟な心を持つ人になってほしい。いくら人工知能が進んでも、人の気持ちに寄り添った行動では、人はロボットや AI に負けないと思います。想像力、人への優しさを持ち、気づけば行動に移せる人になってほしい」。校長先生の「ほしい」はさらに続きます。「WBCの日本チームが世界一になることへ執念を見せたような高い目標を持って生活してほしい。水泳の池上璃花子さんのように挑戦する心を持って、大いに汗をかいてほしい。人の痛みや苦しみを理解し、手を差し伸べる佐農生であれ。自分を磨く、心を磨くことを念頭に置いて1学期を始めてほしい」。校長先生からの「ほしい」の数々を皆さんはどのように受け止めましたか。これらはいきたい姿に近づくために示してくださった道筋です。大切に心にとめて、毎日の学校生活を送り、実りある1年にしましょう。

新年度人事

3月24日、修了式とともに退任式が行われました。この春ご退職の先生、人事異動で転勤なさる先生方と顔を合わせる最後の機会。お別れは寂しいですが、次にお会いするときに成長した姿を見せられるよう、これからの日々を送りましょう。そして4月6日には新しく14名の先生方をお迎えしました。先生方、どうぞよろしくおねがいします。

退職の職員	古家義識先生(R5 再任用)
転出の職員	山田豊教頭先生、藤田佳子先生、岡田由紀先生、石井正英先生、世戸直明先生、藤川清和先生、前田麗菜先生、永田睦先生、待鳥景子先生、古川健太郎先生、井上千恵先生、中村まどか先生

転入の職員	西岡政治教頭先生、片山智子先生、栗山耕次先生、内田真仁先生、石川悟至先生、宮地恵里先生、小形健作先生、岡本拓郎先生、夏秋葵先生、鷺崎正知先生、渡島彩也華先生、森田久美先生、高嶋里穂先生、東島敏隆先生
-------	---

最後の機会。お別れは寂しいですが、次にお会いするときに成長した姿を見せられるよう、これからの日々を送りましょう。そして4月6日には新しく14名の先生方をお迎えしました。先生方、どうぞよろしくおねがいします。



令和5年度 新体制 ～1年間よろしくお願いします～

	農業科学科	食品科学科	環境工学科	学年主任	学年団
学科主任	杠(農)	永尾(食)	江原(環)		
1年	担任	杠(農)	谷丸(食)	栗山(英)	永淵(環) 宮原(社) 片山(国)
	副担任	内田(保体)	宮地(数)		
2年	担任	江副(農)	永尾(食)	神田(社)	杉谷(理) 内川(養) 松野(理) 立部(農)
	副担任	荘口(農)	村橋(食)		
3年	担任	大坪(農)	川内(食)	松尾ヨ(国)	笠原(農) 古家(英) 熊崎(数)
	副担任	立石(農)	田川(家)		
		夏秋(保体)	山口(食)		
			池田(環)		

校務分掌	主任	副主任
教務部	杉谷	本山
農務部	立石	川内
農業クラブ	村橋	永尾
生徒指導部	永淵	田川
生徒会	神田	平野
進路指導部	笠原	古家
保健部	宮原	米倉
PTA運営部	本山	村橋
事務部	鷺崎	福田



令和5年度入学式・対面式



式辞

4月10日(月)に行われた入学式は好天に恵まれました。新入生120名は、担任の先生から一人ずつ呼ばれた後、校長先生から入学を許可されました。校長先生は式辞で「3つの願い」として、高校生活を送る上で大切にしてほしいことについてお話しになりました。それは「高い志と確かな目標をもつこと」、「他人への思いやりやさしさをもつこと」、「当たり前なことを当たり前にする」との3つです。江戸幕末期の思想家であり教育者・吉田松陰の「志定まれば気盛んなり」という言葉をあげ、目標があればこそ努力や工夫ができ、自分の可能性を広げることができると新入生を激励されました。また、友人や先生との関わりを通して思いやりの気持ちを持つ、温かい人に成長してほしい、大谷翔平選手が高校生だった頃に努力したことにも言及され、たゆむことなく地道に努力を重ねてほしいと述べられました。

PTA会長の福田昇悟氏は「励まし合う友人を作ってください。また、将来を見つめる幅広い視野を培い、日頃から広く関心を持って物事を眺めてください。そうしていくことで自然と頭の中に、進むべき道を示す羅針盤ができてきます。ここで過ごす3年間で充実した青春の時間となることを期待します」と心のこもったご祝辞を贈ってくださいました。



祝辞



宣誓

また、生徒会長の三原丞太郎さん(環境工学科3年・東中出身)は、バスケットボールのマイケル・ジョーダン選手の「僕はチームのために犠牲を払うのは嫌だという5人のスーパースターとチームを組むよりも、ひとつのチームとして結束できる5人とプレイをしたい」という言葉をあげ、「入学してからの2年間はあつという間でした。皆さんも充実した高校生活を送れるよう、周りの人と協力していきましょう」と同じ学び舎で学ぶ仲間としての歓迎の言葉を述べました。そして最後に、新入生代表の幸田類さん(環境工学科江北中出身)が宣誓を行い、これから始まる高校生活に向けての決意を力強く述べました。

翌11日(火)には、対面式が行われました。2、3年生は、体育館に入場する新入生を拍手で迎え、生徒会長の三原丞太郎さんが、「困ったことがあったら何でも聞いてください。頼れる先輩として力を尽くします」と頼もしい言葉をかけました。それを受けて新入生を代表して幸田類さんが、「わからないことばかりなので、先輩方、ご指導よろしくお願ひします」と挨拶しました。2、3年生は新入生のよきお手本となって、新入生がはやく佐農に慣れるようしっかり導いてください。



歓迎の言葉

1年生セルフアップ研修

4月13日(木)と14日(金)の2日間、1年生対象のセルフアップ研修を実施しました。校長先生をはじめ、多くの先生方からの期待が込められたお話を聴きました。また、探究的な学びを進めるための事前学習や、仲間との親睦を深めるためのレクリエーション(大縄跳び)も行いました。校歌の練習では、最初は歌おうにもメロディを覚えていないので声が出ませんでした。覚えるに従って徐々に大きな声で歌えるようになりました。滑らかに歌い始め、途中から弾むようにきびきびとリズムカルに、そして最後のフレーズを再び滑らかに、そして太く歌い上げると歌い映えがします。練習後には、「この校歌、好きかも!」という声が聞かれました。今後、行事での皆さんの歌声を楽しみにしています。



今このときの、これから頑張ろうという気持ちを忘れず、悔いのない3年間にしましょう。

6日、早期コシヒカリの田植えを行いました

毎年1学期の始業式の日には、農業科学科作物専攻の2年生が田植えを行います。1年生の時にはもう少し遅い時期に手植えで苗を植えますが、2年生は2反5畝せの田に、全自動田植え機を田んぼあぜから遠隔操作して植えます。この全自動のすごいところは人工衛星を用いてコースが決められるところです。

水は鏡のように山を映し、建物を映し、人を映します。そんななかにか細い苗が整然と並びました。この稲は8月に収穫されますが、作業をしている生徒諸君は「収穫が楽しみ」、「結構たくさんもらえるらしい」と黄金の稲穂がもう見えているようでした。



5月行事予定

1日(月) スクールカウンセラー来校日	17日(水) 中間考査(全学年)、服装頭髪指導
2日(火) 開校記念行事	18日(木) 内科・歯科検診(2年)
農業クラブ県連総会	19日(金) 農業クラブ校内発表大会
8日(月) 13日の振替休日	スクールカウンセラー来校日
9日(火) 未来さが農業塾入塾式	21日(日) 危険物取扱者試験、測量士補国家試験
11日(木) 内科・歯科検診(1年)	24日(水) 耳鼻科検診(1年、該当者)
13日(土) PTA総会	25日(木) 県高校総体社行会
15日(日) 中間考査(2、3年)	26日(金) 高校総体(5月30日まで)
16日(火) 中間考査(全学年)	29日(月) 授業公開週間(6月9日まで)

編集後記 農業クラブと生徒会のオリエンテーションは、硬派軟派とタイプは異なれど、それぞれに素晴らしい内容で魅了されました。特筆すべきは野球部のヘアスタイルについての質問への回答。ウーム、まことに秀逸でした。高校時代、私は野球部の若い国語の先生に憧れて、いいところを見せたいと、努力はときに苦しくも楽しいものでした。新入生諸君が、先輩でもよし、先生でもよし、佐農で憧れの人に会えますように。 K